

池田高2年生が池田保育園で 保育士の仕事を体験

池田高校（富永学校
長、生徒66人）で「保
育基礎」の授業を選択
する2年生5人が7月
11日、池田保育園を訪
れ、保育士の仕事を体
験しました。

この授業は、生徒が
自ら保育園の活動に参
加することで、保育士
の仕事や子どもの発達
段階の理解を深めるこ
とを目的に実施。4回
にわたり、保育園で保
育士や園児たちと交流
しながら、保育の実態

を学びます。

2回目の実施となった
この日、生徒はクラスご
とに分かれ、椅子取りゲ
ーム、爆弾ゲーム、美容
室ごっこ、迷路ゲームな
ど、さまざまな遊びで園
児たちと交流。世代を超
えた交流を通じて、お互
いに刺激を受けながら楽
しんでいました。

授業を終えた伊東理央
さんは「子どもたちと触
れ合うことができ、いろ
いろ話せて楽しかった」
と話していました。





水辺で乾杯!! 河川敷で夕涼み楽しむ

池田町観光協会（古後仁裕会長）主催の「水辺で乾杯2025」が7月9日、利別川河川敷で開かれ、来場した約400人の皆さんが夕涼みを楽しましました。

この催しは、活用されていない水辺の可能性を切り開くための官民一体プロジェクト「ミズベリング」の一環で実施。水辺とまちが一体となった景観、にぎわいを創出することを目的に全国各地で開催されています。



乾杯セレモニーでは、古後会長が「ゆっくり楽しんでいただければ」、安井町長が「皆さんと楽しいひとときを過ごせてうれしい」とあいさつ。池田河川事務所（古溝幸永所長）の乾杯の発声で、十勝ワイン「町民用スパークリング白」を堪能しました。

会場では、キッチンカー、商工会・農協・役場職員労働組合の青年部が飲食物を販売。池田高校の生徒考案メニュー、十勝ワインの歴史をまとめた漫画「ゼロからのチャレンジ!!」わたしたちの町にお城がある理由」なども販売され、多彩な催しでにぎわいました。家族で来場した中嶋真琴さん（池田小4年）は「人がたくさん集まっていて楽しい」と話していました。

池田高校 工芸祭 (7月5・6日)



学びが地域づくりにつながる

集中連載

第4回

生徒の成長と地域の未来への貢献

「なぜ今、池田高校は地域と共に歩むのか?」。それは、池田高校が単なる学びの場にとどまらず、地域の未来を共に創る「重要な存在」だからです。

池田高校では、生徒たちが座学だけでは得られない「生きた学び」を地域との交流の中でも深め、社会とつながり、自ら考え行動する「主体性」を育みます。授業や課外活動で地域の皆さんとの関わりを経て、生徒は視野を広げ、変化の時代を生き抜く力を養うのです。同時に、高校生が町の課題に向き合い、未来を共に築くことは、池田町の活力となり、その発展に不可欠な「パートナー」としての価値を生み出しています。世の中は変わってきている。だから学校も変わるのです。

地域人インタビュー

minotake
"頓所さんの生き方にほれました!"

人と出会い、視野を広げる

地域の皆さんにご協力いただいているインタビュー。大人数の講演を聞くのは受け身になりがち。ここでは、生徒たちが質問項目を考え、話を聞き、考えを深める「主体的な出会い」の機会をつくります。「こんな働き方があるのか」「こんな生き方も素敵だ」。この出会いで進路を決めた生徒も。出会いによって人は変わります。



▲地域人インタビューの様子

インターンシップとミニ探究

自分の進路と町の未来を考える



▲インターンシップの様子

名刺講座でマナーを学び、自分で名刺をデザイン。池田町産のシカ革で名刺ケースを作り「インターンシップ(職場体験)」へ。1年半後、どんな進路を選びたいのか?そのヒントを、実際の仕事を体験しながらつかみます。「この仕事、想像していたのと違う」「ここで働きたい」そんな実感が、進路選択の決め手になることもあります。

「ミニ探究」では、池田町の森や町自体を多面的に見つめ、課題を発見し、仮説を立て、実行するプログラムに挑みます。町の資源をどう生かすか?環境や地域の課題をどう解決するか?生徒が自ら考え、動く経験です。高校生の視点で町を捉え直し、地域の未来づくりに関わる大切な時間です。

探究活動と進路決定

地域で学び、社会へ踏み出す

進路決定とともに、自ら立てた仮説や課題を基に探究活動を行います。生徒は地域に入り込み、町の人々と対話を重ねながら、自分たちのアイデアを形にします。池高PRアプリの作成、小学校での中休み交流実施、地域イベント企画などに挑戦し、町の未来づくりに貢献。高校生活の集大成として地域に根差した学びを深め、社会へ踏み出していきます。



▲探究活動 全校発表会の様子

文責・レイアウト
地域おこし協力隊
高校魅力化推進員
野武亜美



池田高校HP



山本 ひろみ

教諭

家庭科・進路指導部・3年次担任。
教員歴30年超。'21年に釧路教育大
で修士号を取得。

変わる社会。高校も地域も。

池田高校は、座学だけでなく社会とつながる学びを重視しています。高校生は限られた環境で過ごし、家庭や学校しか知らないこともあります。だからこそ、地域の大人と出会い、価値観を広げることが大切です。

教育は管理するものではなく、生徒を信じること。成功も失敗も経験しながら、自らの道を選び取る力を育てたいと思っています。家庭科では「生きる力」を養い、3年間のキャリア教育を深化させています。

今、高校は地域づくりの一部だと思います。地域の大人が生徒を見守り、気にかけて、話しかけることで、学びはより深まります。学校だけではなく、地域全体で若者の成長を支え、未来をともに築くために、ご協力をお願いします。

地域と高校のつながり(R6実績)

学校間の連携と学びの共有

- 池田小学校の中休みに、池高生がそれぞれの内容で交流（7回）
- カナダ姉妹校訪問の報告会を池田中学校で実施

池小での中休み企画▶
(授業：生物基礎)



地域社会との実践的な学び

- 1年次生の地域人インタビューで、地域の方を取材、職場訪問
- 1年次生では池田町念願の「ワイン学」授業実施（4回）。町の歴史や背景、ワイン造りを学ぶ
- 2年次生のインターンシップで、実際の仕事を体験（24事業所）
- 2年次生の保育基礎の授業で、池田保育園やカトリック幼稚園でプログラムを実施（4回）
- 2年次生のライフデザインの授業で池田町の森について学び、商品開発→全道大会進出、商品化
- 2年次生は池田町で捕獲されたシカの革で名刺ケース作り。命を頂く意味などを学ぶ
- 2年次生の英語探究の授業で、池田町のごみ分別ガイドを英訳
- 3年次生の探究活動で、池高をPRするアプリの作成、子ども向けイベントの開催、いけもりプログラム（池田小学校での授業）に参画

地域イベントや文化活動への貢献

- 吹奏楽部がダンプレで町のイベントに多数出演
- 池田小学校のスケート授業で、靴ひも結びをサポート

地域環境・まちづくり活動

- 清見坂の花壇整備を行い、町の景観を守る
- 高校生議会を開催。池田町長に7つの質問で所見を伺う
- 夏休み・冬休み期間の池田小学校学習ボランティアに参加
- 池田高校の校舎は、町の水害時の避難拠点



▲幼稚園の防災訓練(授業：保育基礎)

地域の皆さんへ 一緒に高校の価値を高めたい。

6月に行われた3年次生の課題研究の中間発表会では、なんと30人以上の地域の皆さんにお越しいただきました。コメントでいただいた温かいメッセージや「こんな人紹介できるよ」といった声には感謝の気持ちしかありません。高校が無くなると、今回掲載したようなつながりが全て失われてしまいます。地域に、そして中学生に選ばれる高校として、皆さんと一緒に高校の価値を高めていきたいです。(野武 亜美)



◀ 3年次課題研究「池田高校の魅力をPRする」チームの打ち合わせの様子

イラストの一部も生徒が描いています！▼

次回予告(最終回)

次回がこの連載特集の最後。

最終回は生徒が語る池田高校の真の魅力！「イマ」を現役池高生の言葉でひもときます。3年次生の考えた内容で紙面を作成！どうぞ楽しみに！

